

基本設計見直しの状況について(ご報告)

- ◆ 多くの議論や意見を踏まえて決定したR6.6の見直し方針をもとに、設計アドバイザーからの助言や市議会・市民の意見について、採用できるものは採用する方向で検討・作業。

<R6.6見直し方針> ※主なもの

- 複合棟を民間・公共エリアに分割し、民間・公共ともに規模縮小。
- 劇場+コンベンションのハイブリッドホールを、街とつながり街に開かれた、平土間のフレキシブルホールへ変更。
- まちなかりビング、大屋根広場、屋上広場など市民が日常的に憩える空間を充実。

[市施設面積概算:約13,000㎡]
[市施設取得費見込:250-270億円]

<見直し方針後の主な検討内容>

① 学会・大会等の誘致に向けた会議室等の構成・規模

- 設計アドバイザーからの提案
 - ✓ 一次案 → 大規模学会(1,000人超)や全国大会(2,000人超)等が施設単体で開催可能。会議室数8⇒12、面積は会議室増に伴い必要になる倉庫や機械室等その他も含めて約3,000㎡増。40億円程度コスト増。
 - ✓ 二次案 → 1,000人規模の学会・2,000人規模の全国大会等が施設単体で開催可能。テルサ等周辺施設と連携し、大規模学会等にも対応。会議室数8⇒10、面積は会議室増に伴い必要になる倉庫や機械室等その他も含めて約1,500㎡増。20億円程度コスト増。⇒この方向で調整。

② 1,000人規模のバンケット開催

- 市内外のバンケット事業者へのヒアリング・協議
 - ✓ ケータリング方式とし厨房は設置しない。
 - ✓ 1,000人規模は、立食形式でフレキシブルホールの分割利用(2/3)。
 - ✓ 正餐(着座)形式は、300-400人規模まで、最上階のバンケットルームで対応。
 - ✓ パントリー・什器は必要十分な機能を確保。1,000人規模の際はホールの約1/3を配膳スペースとするなど効率的な運用を検討・調整。

③ ホール分割利用時の遮音

- 高い遮音性能を有する可動間仕切り(D-50※程度)を採用。
- 音楽イベント時等には隣で静けさが要求される催事を開催しないなどの運用で調整、必要に応じ二重壁などを検討。

④ 荷さばき等バックヤード

- 設計アドバイザーからホール全面利用の展示会開催時の荷さばき等について助言(大型ワンボックスカー10台の同時荷さばきや、ガールウィング車の荷さばきへの対応(有効高さ約5m))
 - ホール面積1,500㎡の確保を優先し、1階のホワイエ面積を減らして荷さばき等バックヤードを充実。

⑤ わくわくするような外観や空間

⑥ イベント開催だけでなく、グループで、個人で憩える、小規模なスペース

⑦ 自然を体感できる広場、子供の遊び場になる広場、など

- 子どもの遊び場については一定のスペースを確保しつつ、「こむこむ館」改修や小中学校における「こどもベース」の開設によって充実。

※ D-50は、ピアノやステレオなどの大きな音が小さく聴こえるが、会話やTVの音は殆ど聴こえないレベル。

◆ 現在、A案・B案・C案の3案を検討中(詳細は別添を参照)。いずれも、前頁の検討内容を反映。

* 取得費見込みはR6.3ベースの概算。面積概算・取得費見込みとも今後の設計・積算により変更の可能性がある。

A案 (BIG ROOF)

⇒ 見直し方針の延長上の案

特徴	① 大屋根は、上部に人やモノが乗らない構造。 ② 屋上広場はイベント利用もできる大きな空間で、独立的で落ち着いた感じ。		
市施設面積概算	14,500㎡程度*	市施設取得費見込み	270-290億円程度*
課題	a. バックヤードを上げた影響でホワイエが狭い。 b. 地上から屋上広場が見えにくい。また、屋上広場が空間的に単調(変化が少ない)。 c. ホール分割利用時の遮音性能の確保のため二重壁を採用したり、真ん中を緩衝空間としたりする工夫が必要。		

B案 (STREET PARK①)

⇒ 駅前の顔・シンボルとなり、よりフレキシブルに使える、設計会社の意欲的な提案

特徴	① ホールに可変スペースを設け雁行させる(形状が矩形ではない)ことで、よりフレキシブルに組み合わせる様々な大きさの空間を生み出し、施設内の会議室も含めて様々なニーズに対応。 ② 大屋根上部も広場として利用。雁行型ホールの形状(柱配置)を活かすことで、屋上広場は、小規模スペースが繋がる、連続的で動的(変化が楽しめる)。 ③ ホールに可変スペースを設けることで、分割利用時のホワイエ機能等を補完。また、ホール分割利用時の遮音性能が向上 (A案より約10db低減 (=D-60:ピアノやステレオなどの大きな音が殆ど聴こえないレベルを確保)。 ④ ホール高さの変化や大会議室兼バンケットルームの前庭など空間的な豊かさを重視。		
市施設面積概算	16,000㎡程度*	市施設取得費見込み	290-330億円程度*
課題	a. ホールが矩形でないため違和感をもたれる恐れ。 b. ホールがよりフレキシブルに使える一方で、ホール分割利用時の一つ一つの面積が、A案に比べると小さい(A案は約500㎡、B案は約350㎡)。 c. 屋上広場における大人数のイベント開催に制約。 d. A案より取得費が高くなる。		

C案 (STREET PARK②)

⇒ B案の特徴(①~③)を活かしつつ、④を修正しコンパクトにした案

特徴	① B案の特徴①~③と同様。 ② B案の特徴④(空間的な豊かさ)を見直し、階数を一段下げることで市施設面積の概算をA案と同等に。		
市施設面積概算	14,500㎡程度*	市施設取得費見込み	270-300億円程度*
課題	a. B案の課題a、b、cと同様。 b. A案より取得費が若干高くなる可能性。		